

## 未来経営に関する感度調査

本調査は、四日市市内の企業の未来経営に対する意識を調査するものです。  
記載していただいた企業情報は、学術的な目的以外には使用しません。

### [ご回答にあたって]

本調査はあくまで企業様の意識を調査するものです。様々な業種の方々にご回答いただいています。項目によっては抽象的な設問と感ずる場合もあると思いますが、貴社のご判断でいずれかを選択してください。

### [ご回答方法]

調査項目は以下の通りです。ご回答は下記の①QRコードまたは②URLからお願いいたします。

調査票にご回答のうえ郵送でも結構です。

その場合、恐縮ですが郵送費等をご負担ください。

〒512-8512 四日市市萱生町 1200

四日市大学 総合政策学部 岡 良浩 宛

① QRコード

② URL

(左のQRコードと同じURLです)

配布用に秘匿にしてあります。

### [ご回答期日]

2024年3月31日(日)までにご回答いただければ幸いです。

### [本件に関する問い合わせ]

oka@yokkaichi-u.ac.jp

携帯電話 080 6179 6444 (本調査専用)

1. 企業の市場変化への対応

変化が著しい昨今にあって、市場は常に変化しています。変化の様態は業種によって様々ですが、全般的な貴社の市場変化への対応状況について、もっともあてはまるものを選んでください。

- ①市場変化を先取りして進めている                      ②市場変化に順応して進めている  
③市場変化に対応できてない部分もある              ④市場変化に対応しきれていない

2. 情報技術の取り入れ（デジタルトランスフォーメーション）

クラウドコンピューティング、ビッグデータ、人工知能(AI)、インターネット・オブ・シングス (IoT) などのデジタル革命は、多くの分野で浸透しつつあります。貴社での取り入れ状況について、もっともあてはまるものを選んでください。

- ①多くの分野で取り入れている                      ②部分的に取り入れている  
③今後取り入れたいと考えている                  ④取り入れる予定はない

3. 技術トレンドの取り入れ

デジタル革命以外にも製造技術や業務プロセスに関わる技術変化も多様に存在します。貴社でも技術トレンドの取り入れについて、あてはまるものを選んでください。

- ①積極的に取り入れている                      ②ある程度取り入れている  
③取り入れていない面が多い                      ④取り入れるつもりはない

4. 商品やサービスのイノベーションの推進

商品そのものやサービスそのものも、時代とともに変革が求められています。貴社での商品やサービスのイノベーションの推進について、あてはまるものを選んでください。

- ①積極的に推進している                      ②ある程度推進している  
③あまり推進していない                      ④推進するつもりはない。

5. 人材スキルの開発（リスキリング）

従業員が新しい能力やスキルを身につけることは、業態によってはますます重要になりつつあります。貴社での人材スキルの開発について、あてはまるものを選んでください。

- ①継続的・全般的に実施している                      ②部分的・断片的に実施している  
③実施できていない面が多い                      ④実施する予定はない

6. 組織文化の維持と変革

企業が持つ組織文化（価値観・信念・行動パターン・コミュニケーション手法など）は、従業員のモチベーションのみならず顧客満足にもつながります。貴社での組織文化の維持と変革について、あてはまるものを選んでください。

- ①積極的に維持と変革に取り組んでいる                      ②部分的に変革に取り組んでいる  
③必要であるがあまり取り組めていない                      ④組織文化をあまり意識していない

7. 環境・社会への貢献

企業は利益追求だけでなく、持続可能な社会や地球環境のために積極的な貢献を行うことも求められつつあります。貴社の環境・社会への貢献について、あてはまるものを選んでください。

- ①積極的に取り組んでいる                      ②ある程度取り組んでいる  
③あまり取り組めていない                      ④全く取り組んでいない

8. 顧客からのフィードバックの活用

顧客からフィードバックを通じて製品やサービスの改善を行うことは、ますます重要になりつつあります。顧客からの活用について、あてはまるものを選んでください。

- ①積極的・組織的に活用している                      ②部分的・属人的に活用している  
③あまり活用できていない                      ④全く活用していない

9. 持続可能なビジネスモデル

企業が長期的に成功するためには、ビジネスモデル全般の持続可能性について意識する必要があります。貴社の持続可能なビジネスモデルについて、もっともあてはまるものを選んでください。

- ①現在でも持続可能なビジネスモデルであると思う
- ②一部、持続可能なビジネスモデルに転換する必要がある
- ③全体的に、持続可能なビジネスモデルに転換する必要性を感じている
- ④全体的に、持続可能なビジネスモデルではないと感じている

10. 大学や研究機関との協力

未来経営の手段のひとつとして、大学や研究機関との協力があります。地元大学に関わらず大学や研究機関との協力について、貴社にあてはまるものを選んでください。

- ①非常に重要でありすでに協力がある
- ②ある程度協力関係があるが一層すすめたい
- ③必要性は感じながらも協力関係までには至っていない
- ④あまり必要性を感じていない

11. ヒアリング等の可能性

本調査に関連したヒアリング等を行いたいと思っています。その可能性についてももっともあてはまるものを選んでください。

- ①積極的にヒアリング等をうけたい
- ②状況や内容によって協力可能である
- ③あまりうけたくない

12. 企業名（封筒の宛名に記載の番号でご回答頂いても結構です。）

13. メールアドレス（貴社のメールアドレスをご記入ください。）

14. ご回答者の役職・氏名（今回ご回答頂いた方の役職と氏名をご記入ください。）

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。